

消防団たずね歩き



支団合同夏期訓練実施

北消防団大沢支団長
小西元八

7月17日、神戸市立フルーツフラワーパークの多目的広場において、消防団・防災福祉コミュニティ総勢240人が参加して、大沢支団と長尾支団の合同夏期訓練を実施しました。両支団は親交も深く、過去には林野火災の合同訓練を計画し、残念ながら降雨のため中止になったこともありました。

大沢、長尾の両町境には近年、ニュータウンや大型ショッピングセンターができて人の往来が増え、公園などでは花火遊びやバーベキューなどで火を使うことも多くなり、万々に備えて支団の協力体制が必要になってきました。前長尾支団長の山谷さんと合同訓練の話をするようになり、1月には実施日を決めました。その後、4月から交代した長尾支団の採田支団長と訓練内容について、北消防署北神分署1係の指導を受けながら打ち合わせを重ねました。

その結果、消防団は基本となる規律訓練と小型動力ポンプ放水競技、防コミは防火防災救急訓練の実施が決まりました。一般的な訓練ですが、支団合同での実施は初めてで、お互いが意識しながら緊張した雰囲気の中での展開になると考えました。

訓練当日は朝からカンカン照りで熱中症などの心配もありましたが、故障者も出さずに半日の訓練を終えることができたのは、気合の入った参加者の取り組み姿勢の結果だと思っています。激励にお越しいただいた方々からの合同訓練への賞賛のことばを聞き、「実施して良かった。また来年もできる」と感じたのは私だけではなかったと思います。この訓練にご尽力いただいた消防署及び支団本部の皆さん、そして会場設営担当分団の皆さんに、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

大地震への不安は募りますが、東日本震災の教訓を生かし、町民の皆さんの安全・安心のためはもちろん、消防団員一人ひとりが自身の安全を守るためにも、さらに防災意識の徹底を図りたいと思います。



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

